

喀痰吸引 口腔内・鼻腔内吸引(通常手順)

評価基準

- 「ア」・・・評価項目について手順通りに実施できている。
- 「イ」・・・評価項目について手順を抜かしたり、間違えたりした。
- 「ウ」・・・見過ごせないレベルであり、その場で指導した。
- 「エ」・・・一人での実施を任せられるレベルではない。

受講番号	
受講者氏名	
本票ページ数	/

実施回数	( )回目	( )回目	( )回目	( )回目	( )回目	
実施月日	/	/	/	/	/	
開始時間	:	:	:	:	:	
終了時間	:	:	:	:	:	
実施手順	評価項目					
STEP4 : 準備	1	医師の指示等の確認を行う				
	2	手洗いを行う				
	3	必要物品をそろえ、作動状況等を点検確認する				
	4	必要物品を実地研修協力者（演習の場合は演習シミュレーター）のもとに運ぶ				
STEP5 : 実施	5	実地研修協力者に吸引の説明をする				
	6	吸引の環境・実地研修協力者の姿勢を整える				
	7	口腔内・鼻腔内を観察する				
	8	手袋の着用またはセッシンを持つ				
	9	吸引チューブを清潔に取り出す				
	10	吸引チューブを清潔に吸引器と連結管で連結する				
	11	（浸漬法の場合）吸引チューブ外側を清浄綿等で拭く				
	12	吸引器の電源を入れて水を吸い決められた吸引圧になることを確認する				
	13	吸引チューブの先端の水をよく切る				
	14	実地研修協力者に吸引開始について声かけを行う				
	15	適切な吸引圧で適切な深さまで吸引チューブを挿入する				
	16	適切な吸引時間で分泌物等の貯留物を吸引する				
	17	吸引チューブを静かに抜く				
	18	吸引チューブの外側を清浄綿等で拭く				
	19	洗浄水を吸引し、吸引チューブ内側の汚れを落とす				
	20	（セッシンを持っている場合）セッシンを戻す				
	21	吸引器の電源を切る				
	22	吸引チューブを連結管から外し保管容器に戻す				
	23	手袋をはずす（手袋を使用している場合）				
	24	実地研修協力者に吸引終了の声かけを行い、姿勢を整える				
	25	吸引物及び実地研修協力者の状態を観察する				
	26	実地研修協力者の吸引前の状態と吸引後の状態変化を観察する				
	27	吸引後に経鼻経管栄養チューブが口腔内に出てきていないかを観察する（経鼻経管栄養実施者のみ）				
	28	手洗いをする				
STEP6 : 報告	29	吸引物及び実地研修協力者の状態を報告する				
	30	吸引後に経鼻経管栄養チューブが口腔内に出てきていないことを報告する（経鼻経管栄養実施者のみ）				
	31	ヒヤリハット・アクシデントの報告をする（該当する場合のみ）				
STEP7 : 片付け	32	吸引びんの排液量が70%～80%になる前に排液を捨てる				
	33	使用物品を速やかに後片付けまたは交換する				
STEP8 : 記録	34	実施記録を記載する				

コメント

( )回目	
( )回目	
( )回目	
( )回目	
( )回目	

- 【合格基準】 ①累積成功率が70%以上であること  
②最終3回のケア評価がすべて「ア」であること

- 【開始時間】 指導看護師より受講者に対して指示があった時間からとする  
【終了時間】 実施のみでなく、報告、片づけ、記録までを一連の流れで終了した時間とする。  
報告後の片付けや記録が時間が空いてしまう場合は、その時間を除外したものを記載すること。

口腔内	鼻腔内
-----	-----

※口腔内・鼻腔は別々の評価票にご記入ください。  
左記欄の行為種別のいずれかに○をつけてください。

指導看護師		判定	合・否
-------	--	----	-----

セントスタッフ記入欄

チェック印	クリア数	全回数	クリア率	合否

喀痰吸引 口腔内・鼻腔内吸引(通常手順)

評価基準

- 「ア」…評価項目について手順通りに実施できている。
- 「イ」…評価項目について手順を抜かしたり、間違えたりした。
- 「ウ」…見過ごせないレベルであり、その場で指導した。
- 「エ」…一人での実施を任せられるレベルではない。

受講番号	
受講者氏名	
本票ページ数	/

実施回数		( )回目	( )回目	( )回目	( )回目	( )回目
実施月日		/	/	/	/	/
開始時間		:	:	:	:	:
終了時間		:	:	:	:	:
実施手順	評価項目					
STEP4 : 準備	1 医師の指示等の確認を行う					
	2 手洗いを行う					
	3 必要物品をそろえ、作動状況等を点検確認する					
	4 必要物品を実地研修協力者(演習の場合は演習シミュレーター)のもとに運ぶ					
STEP5 : 実施	5 実地研修協力者に吸引の説明をする					
	6 吸引の環境・実地研修協力者の姿勢を整える					
	7 口腔内・鼻腔内を観察する					
	8 手袋の着用またはセッシンを持つ					
	9 吸引チューブを清潔に取り出す					
	10 吸引チューブを清潔に吸引器と連結管で連結する					
	11 (浸漬法の場合)吸引チューブ外側を清浄綿等で拭く					
	12 吸引器の電源を入れて水を吸い決められた吸引圧になることを確認する					
	13 吸引チューブの先端の水をよく切る					
	14 実地研修協力者に吸引開始について声かけを行う					
	15 適切な吸引圧で適切な深さまで吸引チューブを挿入する					
	16 適切な吸引時間で分泌物等の貯留物を吸引する					
	17 吸引チューブを静かに抜く					
	18 吸引チューブの外側を清浄綿等で拭く					
	19 洗浄水を吸引し、吸引チューブ内側の汚れを落とす					
	20 (セッシンを持っている場合)セッシンを戻す					
	21 吸引器の電源を切る					
	22 吸引チューブを連結管から外し保管容器に戻す					
	23 手袋をはずす(手袋を使用している場合)					
	24 実地研修協力者に吸引終了の声かけを行い、姿勢を整える					
	25 吸引物及び実地研修協力者の状態を観察する					
	26 実地研修協力者の吸引前の状態と吸引後の状態変化を観察する					
	27 吸引後に経鼻経管栄養チューブが口腔内に出てきていないかを観察する(経鼻経管栄養実施者のみ)					
	28 手洗いをする					
STEP6 : 報告	29 吸引物及び実地研修協力者の状態を報告する					
	30 吸引後に経鼻経管栄養チューブが口腔内に出てきていないことを報告する(経鼻経管栄養実施者のみ)					
	31 ヒヤリハット・アクシデントの報告をする(該当する場合のみ)					
STEP7 : 片付け	32 吸引びんの排液量が70%~80%になる前に排液を捨てる					
	33 使用物品を速やかに後片付けまたは交換する					
STEP8 : 記録	34 実施記録を記載する					

コメント

( )回目	
( )回目	
( )回目	
( )回目	
( )回目	

- 【合格基準】 ①累積成功率が70%以上であること  
②最終3回のケア評価がすべて「ア」であること

- 【開始時間】 指導看護師より受講者に対して指示があった時間からとする  
【終了時間】 実施のみでなく、報告、片づけ、記録までを一連の流れで終了した時間とする。報告後の片付けや記録が時間が空いてしまう場合は、その時間を除外したものを記載すること。

口腔内	鼻腔内
-----	-----

※口腔内・鼻腔は別々の評価票にご記入ください。左記欄の行為種別のいずれかに○をつけてください。

指導看護師		判定	合・否
-------	--	----	-----

セントスタッフ記入欄

チェック印	クリア数	全回数	クリア率	合否

喀痰吸引 気管カニューレ内部吸引(通常手順)

評価基準

「ア」…評価項目について手順通りに実施できている。  
 「イ」…評価項目について手順を抜かしたり、間違えたりした。  
 「ウ」…見過ごせないレベルであり、その場で指導した。  
 「エ」…一人での実施を任せられるレベルではない。

受講番号	
受講者氏名	
本票ページ数	/

実施回数		( )回目	( )回目	( )回目	( )回目	( )回目
実施月日		/	/	/	/	/
開始時間		:	:	:	:	:
終了時間		:	:	:	:	:
実施手順	評価項目					
STEP4 : 準備	1	医師の指示等の確認を行う				
	2	手洗いを行う				
	3	必要物品をそろえ、作動状況等を点検確認する				
	4	必要物品を実地研修協力者（演習の場合は演習シミュレーター）のもとに運ぶ				
STEP5 : 実施	5	実地研修協力者に吸引の説明をする				
	6	吸引の環境・実地研修協力者の姿勢を整える				
	7	気管カニューレ周囲や固定の状態を観察する				
	8	手袋の着用またはセッシンを持つ				
	9	吸引チューブを清潔に取り出す				
	10	吸引チューブを清潔に吸引器と連結管で連結する				
	11	（浸漬法の場合）吸引チューブ外側を清浄綿等で拭く				
	12	吸引器の電源を入れて原則として滅菌精製水を吸い決められた吸引圧になることを確認する				
	13	吸引チューブ先端の水をよく切る				
	14	実地研修協力者に吸引開始について声かけを行う				
	15	適切な吸引圧で適切な深さまで吸引チューブを挿入する				
	16	適切な吸引時間で気管カニューレ内の分泌物等の貯留物を吸引する				
	17	吸引チューブを静かに抜く				
	18	吸引チューブの外側を清浄綿等で拭く				
	19	滅菌精製水を吸引し、吸引チューブ内側の汚れを落とす				
	20	（セッシンを持っている場合）セッシンを戻す				
	21	吸引器の電源を切る				
	22	吸引チューブを連結管から外し保管容器に戻す、または単回使用の場合は原則として破棄する				
	23	手袋をはずす（手袋を着用している場合）				
	24	実地研修協力者に吸引終了の声かけを行い、姿勢を整える				
	25	吸引物及び実地研修協力者の状態を観察する				
	26	実地研修協力者の吸引前の状態と吸引後の状態変化を観察する				
	27	吸引後に経鼻経管栄養チューブが口腔内に出てきていないかを観察する（経鼻経管栄養実施者のみ）				
	28	手洗いをする				
STEP6 : 報告	29	吸引物及び実地研修協力者の状態を報告する				
	30	吸引後に経鼻経管栄養チューブが口腔内に出てきていないことを報告する（経鼻経管栄養実施者のみ）				
	31	ヒヤリハット・アクシデントの報告をする（該当する場合のみ）				
STEP7 : 片付け	32	吸引びんの排液量が70%~80%になる前に排液を捨てる				
	33	使用物品を速やかに後片付けまたは交換する				
STEP8 : 記録	34	実施記録を記載する				

コメント

( )回目	
( )回目	
( )回目	
( )回目	
( )回目	

【合格基準】 ①累積成功率が70%以上であること  
 ②最終3回のケア評価がすべて「ア」であること

指導看護師		判定	合・否
セントスタッフ記入欄			
チェック印	クリア数	全回数	クリア率
			合否

喀痰吸引 気管カニューレ内部吸引(通常手順)

評価基準

「ア」…評価項目について手順通りに実施できている。  
 「イ」…評価項目について手順を抜かしたり、間違えたりした。  
 「ウ」…見過ごせないレベルであり、その場で指導した。  
 「エ」…一人での実施を任せられるレベルではない。

受講番号	
受講者氏名	
本票ページ数	/

実施回数		( )回目	( )回目	( )回目	( )回目	( )回目
実施月日		/	/	/	/	/
開始時間		:	:	:	:	:
終了時間		:	:	:	:	:
実施手順	評価項目					
STEP4 : 準備	1	医師の指示等の確認を行う				
	2	手洗いを行う				
	3	必要物品をそろえ、作動状況等を点検確認する				
	4	必要物品を実地研修協力者（演習の場合は演習シミュレーター）のもとに運ぶ				
STEP5 : 実施	5	実地研修協力者に吸引の説明をする				
	6	吸引の環境・実地研修協力者の姿勢を整える				
	7	気管カニューレ周囲や固定の状態を観察する				
	8	手袋の着用またはセッシンを持つ				
	9	吸引チューブを清潔に取り出す				
	10	吸引チューブを清潔に吸引器と連結管で連結する				
	11	（浸漬法の場合）吸引チューブ外側を清浄綿等で拭く				
	12	吸引器の電源を入れて原則として滅菌精製水を吸い決められた吸引圧になることを確認する				
	13	吸引チューブ先端の水をよく切る				
	14	実地研修協力者に吸引開始について声かけを行う				
	15	適切な吸引圧で適切な深さまで吸引チューブを挿入する				
	16	適切な吸引時間で気管カニューレ内の分泌物等の貯留物を吸引する				
	17	吸引チューブを静かに抜く				
	18	吸引チューブの外側を清浄綿等で拭く				
	19	滅菌精製水を吸引し、吸引チューブ内側の汚れを落とす				
	20	（セッシンを持っている場合）セッシンを戻す				
	21	吸引器の電源を切る				
	22	吸引チューブを連結管から外し保管容器に戻す、または単回使用の場合は原則として破棄する				
	23	手袋をはずす（手袋を着用している場合）				
	24	実地研修協力者に吸引終了の声かけを行い、姿勢を整える				
25	吸引物及び実地研修協力者の状態を観察する					
26	実地研修協力者の吸引前の状態と吸引後の状態変化を観察する					
27	吸引後に経鼻経管栄養チューブが口腔内に出てきていないかを観察する（経鼻経管栄養実施者のみ）					
28	手洗いをする					
STEP6 : 報告	29	吸引物及び実地研修協力者の状態を報告する				
	30	吸引後に経鼻経管栄養チューブが口腔内に出てきていないことを報告する（経鼻経管栄養実施者のみ）				
	31	ヒヤリハット・アクシデントの報告をする（該当する場合のみ）				
STEP7 : 片付け	32	吸引びんの排液量が70%~80%になる前に排液を捨てる				
	33	使用物品を速やかに後片付けまたは交換する				
STEP8 : 記録	34	実施記録を記載する				

コメント

( )回目	
( )回目	
( )回目	
( )回目	
( )回目	

【合格基準】 ①累積成功率が70%以上であること  
 ②最終3回のケア評価がすべて「ア」であること

指導看護師		判定	合・否
セントスタッフ記入欄			
チェック印	クリア数	全回数	クリア率
			合否

胃ろう又は腸ろうによる経管栄養

評価基準

「ア」…評価項目について手順通りに実施できている。  
 「イ」…評価項目について手順を抜かしたり、間違えたりした。  
 「ウ」…見過ごせないレベルであり、その場で指導した。  
 「エ」…一人での実施を任せられるレベルではない。

受講番号	
受講者氏名	
本票ページ数	/

実施回数		( )回目	( )回目	( )回目	( )回目	( )回目
実施月日		/	/	/	/	/
開始時間		:	:	:	:	:
終了時間		:	:	:	:	:
実施手順	評価項目					
STEP4: 準備	1	医師の指示等の確認を行う				
	2	手洗いを行う				
	3	必要な物品を準備する				
	4	① 指示された栄養剤（流動食）の種類・量・時間を確認する ② 指示された栄養剤（半固形）の種類・量・時間を確認する				
STEP5: 実施	5	経管栄養の注入準備を行う				
	6	① 準備した栄養剤（流動食）を利用者のもとのに運ぶ				
		② 準備した栄養剤（半固形）を利用者のもとのに運ぶ				
	7	実地研修協力者に本人確認を行い、経管栄養の実施について説明する				
	8	① 注入する栄養剤（流動食）が実地研修協力者本人のものであるかを確認し、適切な体位をとり、環境を整備する				
		② 注入する栄養剤（半固形）が実地研修協力者本人のものであるかを確認し、適切な体位をとり、環境を整備する				
	9	① 経管栄養チューブに不具合がないか確認し、確実に挿入部に接続する				
		② 経管栄養チューブに不具合がないか確認し、半固形栄養剤パックを確実に挿入部に接続する				
	10	① 注入を開始し、注入直後の様子を観察する（適切な滴下速度を守る）				
		② 注入を開始し、注入直後の様子を観察する（適切な注入圧・速度を守る）				
	11	注入中の表情や状態を定期的に観察する				
	12	注入中の実地研修協力者の体位を観察する				
	13	① 注入物の滴下の状態を観察する				
		② 半固形栄養剤の注入状況を確認する				
14	① 挿入部からの栄養剤（流動食）のもれを確認する。					
	② 挿入部からの栄養剤（半固形）のもれを確認する。					
15	注入中に実地研修協力者の状態を観察する					
16	クレンメを閉め、経管栄養チューブの接続を外す					
17	注入終了後は白湯を注入し、状態を観察する					
18	半座位の状態を保つ					
STEP6: 報告	19	注入後、実地研修協力者の状態を観察し、報告する				
	20	体位交換が必要な実地研修協力者に対しては、異常が無ければ体位変換を再開する				
	21	ヒヤリハット・アクシデントの報告をする（該当する場合のみ）				
STEP7: 片付け	22	環境を汚染させないように使用物品を速やかに後片付けする				
STEP8: 記録	23	実施記録を記載する				

コメント

( )回目	
( )回目	
( )回目	
( )回目	
( )回目	

【合格基準】

- ①累積成功率が70%以上であること
- ②最終3回のケア評価がすべて「ア」であること

指導看護師		判定	合・否
セントスタッフ記入欄			
チェック印	クリア数	全回数	クリア率
			合否

胃ろう又は腸ろうによる経管栄養

評価基準

「ア」…評価項目について手順通りに実施できている。  
 「イ」…評価項目について手順を抜かしたり、間違えたりした。  
 「ウ」…見過ごせないレベルであり、その場で指導した。  
 「エ」…一人での実施を任せられるレベルではない。

受講番号	
受講者氏名	
本票ページ数	/

実施回数		( )回目	( )回目	( )回目	( )回目	( )回目
実施月日		/	/	/	/	/
開始時間		:	:	:	:	:
終了時間		:	:	:	:	:
実施手順	評価項目					
STEP4: 準備	1	医師の指示等の確認を行う				
	2	手洗いを行う				
	3	必要な物品を準備する				
	4	① 指示された栄養剤（流動食）の種類・量・時間を確認する ② 指示された栄養剤（半固形）の種類・量・時間を確認する				
STEP5: 実施	5	経管栄養の注入準備を行う				
	6	① 準備した栄養剤（流動食）を利用者のもとのに運ぶ				
		② 準備した栄養剤（半固形）を利用者のもとのに運ぶ				
	7	実地研修協力者に本人確認を行い、経管栄養の実施について説明する				
	8	① 注入する栄養剤（流動食）が実地研修協力者本人のものであるかを確認し、適切な体位をとり、環境を整備する				
		② 注入する栄養剤（半固形）が実地研修協力者本人のものであるかを確認し、適切な体位をとり、環境を整備する				
	9	① 経管栄養チューブに不具合がないか確認し、確実に挿入部に接続する				
		② 経管栄養チューブに不具合がないか確認し、半固形栄養剤パックを確実に挿入部に接続する				
	10	① 注入を開始し、注入直後の様子を観察する（適切な滴下速度を守る）				
		② 注入を開始し、注入直後の様子を観察する（適切な注入圧・速度を守る）				
	11	注入中の表情や状態を定期的に観察する				
	12	注入中の実地研修協力者の体位を観察する				
	13	① 注入物の滴下の状態を観察する				
		② 半固形栄養剤の注入状況を確認する				
14	① 挿入部からの栄養剤（流動食）のもれを確認する。					
	② 挿入部からの栄養剤（半固形）のもれを確認する。					
15	注入中に実地研修協力者の状態を観察する					
16	クレンメを閉め、経管栄養チューブの接続を外す					
17	注入終了後は白湯を注入し、状態を観察する					
18	半座位の状態を保つ					
STEP6: 報告	19	注入後、実地研修協力者の状態を観察し、報告する				
	20	体位交換が必要な実地研修協力者に対しては、異常が無ければ体位変換を再開する				
	21	ヒヤリハット・アクシデントの報告をする（該当する場合のみ）				
STEP7: 片付け	22	環境を汚染させないように使用物品を速やかに後片付けする				
STEP8: 記録	23	実施記録を記載する				

コメント

( )回目	
( )回目	
( )回目	
( )回目	
( )回目	

【合格基準】

- ①累積成功率が70%以上であること
- ②最終3回のケア評価がすべて「ア」であること

指導看護師		判定	合・否
セントスタッフ記入欄			
チェック印	クリア数	全回数	クリア率
			合否

## 経鼻経管栄養

**評価基準**

- 「ア」…評価項目について手順通りに実施できている。
- 「イ」…評価項目について手順を抜かしたり、間違えたりした。
- 「ウ」…見過ごせないレベルであり、その場で指導した。
- 「エ」…一人での実施を任せられるレベルではない。

受講番号	
受講者氏名	
本票ページ数	/

	実施回数	( )回目	( )回目	( )回目	( )回目	( )回目
	実施月日	/	/	/	/	/
	開始時間	:	:	:	:	:
	終了時間	:	:	:	:	:
実施手順	評価項目					
STEP4 : 準備	1 医師の指示等の確認を行う					
	2 手洗いを行う					
	3 必要な物品を準備する					
	4 指示された栄養剤（流動食）の種類・量・時間を確認する					
	5 経管栄養の注入準備を行う					
	6 準備した栄養剤（流動食）を実地研修協力者（演習の場合は演習シミュレーター）のもとに運ぶ					
STEP5 : 実施	7 実地研修協力者に本人確認を行い、経管栄養の実施について説明する					
	8 注入する栄養剤（流動食）が実地研修協力者本人のものであるかを確認し、適切な体位をとり、環境を整備する					
	9 経管栄養チューブに不具合がないか確認し、確実に接続する					
	10 注入を開始し、注入直後の様子を観察する					
	11 注入中の表情や状態を定期的に観察する					
	12 注入中の実地研修協力者の体位を観察する					
	13 注入物の滴下の状態を観察する					
	14 注入中に実地研修協力者の状態を観察する					
	15 クレンメを閉め、経管栄養チューブの接続を外す					
	16 注入終了後は白湯を注入し、状態を観察する					
	17 半座位の状態を保つ					
STEP6 : 報告	18 注入後、実地研修協力者の状態を観察し、報告する					
	19 体位交換が必要な実地研修協力者に対しては、異常が無ければ体位変換を再開する					
	20 ヒヤリハット・アクシデントの報告をする（該当する場合のみ）					
STEP7 : 片付け	21 環境を汚染させないように使用物品を速やかに後片付けする					
STEP8 : 記録	22 実施記録を記載する					

**コメント**

( )回目	
( )回目	
( )回目	
( )回目	
( )回目	

- 【合格基準】
- ①累積成功率が70%以上であること
  - ②最終3回のケア評価がすべて「ア」であること

指導看護師	セントスタッフ記入欄		判定	合・否
チェック印	クリア数	全回数	クリア率	合否

## 経鼻経管栄養

**評価基準**

- 「ア」…評価項目について手順通りに実施できている。  
 「イ」…評価項目について手順を抜かしたり、間違えたりした。  
 「ウ」…見過ごせないレベルであり、その場で指導した。  
 「エ」…一人での実施を任せられるレベルではない。

受講番号	
受講者氏名	
本票ページ数	/

	実施回数	( )回目	( )回目	( )回目	( )回目	( )回目
	実施月日	/	/	/	/	/
	開始時間	:	:	:	:	:
	終了時間	:	:	:	:	:
実施手順	評価項目					
STEP4 : 準備	1 医師の指示等の確認を行う					
	2 手洗いを行う					
	3 必要な物品を準備する					
	4 指示された栄養剤（流動食）の種類・量・時間を確認する					
	5 経管栄養の注入準備を行う					
	6 準備した栄養剤（流動食）を実地研修協力者（演習の場合は演習シミュレーター）のもとに運ぶ					
STEP5 : 実施	7 実地研修協力者に本人確認を行い、経管栄養の実施について説明する					
	8 注入する栄養剤（流動食）が実地研修協力者本人のものであるかを確認し、適切な体位をとり、環境を整備する					
	9 経管栄養チューブに不具合がないか確認し、確実に接続する					
	10 注入を開始し、注入直後の様子を観察する					
	11 注入中の表情や状態を定期的に観察する					
	12 注入中の実地研修協力者の体位を観察する					
	13 注入物の滴下の状態を観察する					
	14 注入中に実地研修協力者の状態を観察する					
	15 クレンメを閉め、経管栄養チューブの接続を外す					
	16 注入終了後は白湯を注入し、状態を観察する					
	17 半座位の状態を保つ					
STEP6 : 報告	18 注入後、実地研修協力者の状態を観察し、報告する					
	19 体位交換が必要な実地研修協力者に対しては、異常が無ければ体位変換を再開する					
	20 ヒヤリハット・アクシデントの報告をする（該当する場合のみ）					
STEP7 : 片付け	21 環境を汚染させないように使用物品を速やかに後片付けする					
STEP8 : 記録	22 実施記録を記載する					

**コメント**

( )回目	
( )回目	
( )回目	
( )回目	
( )回目	

- 【合格基準】 ①累積成功率が70%以上であること  
 ②最終3回のケア評価がすべて「ア」であること

指導看護師		判定	合・否	
セントスタッフ記入欄				
チェック印	クリア数	全回数	クリア率	合否